

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和7 年 3 月 31 日

富士宮市議会議長

様

会 派 名 称 無会派

代表者氏名 岩村恵美

令和 6 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収 入

政 務 活 動 費 300,000 円



2 支 出

項 目	金 額 (円)	主 たる 支 出 の 内 訳
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
会 議 費	200,453	各種研修会への参加費・旅費
事 務 費	0	
調 査 旅 費	57,200	行政視察旅費
そ の 他 経 費	2,000	行政視察土産代
合 計	259,653	

3 残 額 40,347 円

令和 6 年度 政務活動費現金出納簿

単位 :円)

月	日	項 目	内 容	収入金額	支払金額	残 高
4	1	政務活動費		300,000		300,000
4	15	会議費	第 1回市町村長等議会議員特別セミナー参加費		2,385	297,615
5	21	会議費	日本自治創造学会旅費		31,580	266,035
5	30	会議費	日本自治創造学会参加費		15,000	251,035
7	18	会議費	子どもアトボカシー勉強会旅費		3,370	247,665
7	19	会議費	子どもアトボカシー勉強会参加費		3,000	244,665
7	20	会議費	食農議連勉強会旅費		3,370	241,295
7	22	会議費	食農議連勉強会参加費		2,000	239,295
10	22	会議費	清溪セミナー参加費		10,000	229,295
11	12	会議費	市町村議会議員研修参加費		11,385	217,910
11	12	会議費	市町村議会議員研修参加旅費		24,650	193,260
11	22	会議費	地域医療勉強会会場使用料		34	193,226
11	29	会議費	新人議員研修全国キャラバン参加費		5,385	187,841
12	6	会議費	新人議員研修全国キャラバン旅費		13,430	174,411
12	10	会議費	地域医療勉強会講師謝礼		875	173,536
12	10	会議費	地域医療勉強講師交通費		711	172,825
12	10	会議費	地域医療勉強プロジェクト使用料		68	172,757
11	29	調査旅費	さくら荘 のぞみ保育園視察旅費		57,200	115,557
1	7	その他の経費	行政視察土産代		2,000	113,557
3	24	会議費	研修会旅費		13,830	99,727
3	24	会議費	研修会旅費		13,830	85,897
3	25	会議費	研修会受講料		15,550	70,347
3	25	会議費	研修会受講料		30,000	40,347
			合 計	300,000	259,653	40,347

収入金額

300,000 円

支出金額

259,653 円

差引残額

40,347 円

令和6年4月1日

令和6年度 無会派（岩村恵美） 年間計画

先進地視察

- 1, 福祉一般（子育て・重層的支援事業）
- 2, 教育（不登校問題）
- 3, 防災（障がい者、衛生面）
- 4, 環境（オーガニック、有機農産物）

研修会

- 1, 議員研修・セミナー等の参加
- 2, 各種学会主催の講演会への参加
- 3, その他

資料購入

- 1, 議員活動関連書籍の購入
- 2, 自治体情報月刊誌の購入

事務用品購入

- 1, 筆記用具・文具全般
- 2, その他

無会派 代表者 岩村恵美
会計 岩村恵美

第5号様式（第4条関係）

政 務 活 動 費 交 付 決 定 通 知 書

富 行 第 1 5 号 の 2

令 和 6 年 4 月 1 日

岩 村 恵 美 様

富 士 宮 市 長 須 藤 秀 忠

令和6年4月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、下記のとおり決定したので通知します。

記

令和6年度交付決定額 30万円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	3 0 0 , 0 0 0 円
内 容	政務活動費 1 人分 岩村恵美
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和 6 年 4 月 1 日
摘 要	

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和6年 4 月 1 日		決 裁 令和6年 4 月 1 日
所 属		氏 名	備 考
1	無会派	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
開催日		研 修 名	
令和6年4月18日 ～19日		オンラインリモート 講演会	第一回市町村長等・議会議員特 別セミナー
研 修 目 的			
国家戦略特区と地方創生の取り組み、吉本興業ホールディングス（株）民間の力を 使いお笑いの力で地域活性化をどのように活用したかを知るため			

政 務 活 動 費 用

— 領收書等貼付欄 —

サ イ セ ン コ ク シ チ ヨ ウ ソ ン ケ ン シ ユ ウ サ
イ タ ン 様
イ ワ ム ラ イ ミ 様

研修報告書

	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">会 派 名</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">無会派</td> </tr> </table>	会 派 名	無会派
会 派 名	無会派		
研 修 年 月 日	令和6年4月18日～4月19日		
研 修 名	第1回市町村長等・議会議員特別セミナー		
参 加 者	岩村恵美		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	国家戦略特区の取組と地方創生 兵庫県養父市 市長 広瀬 栄 人口 22,129 人 前回比－8.9% 高齢化率 40,17% 全国 29,1% 10 年後、30 年後に向けての将来像を考えたとき、施策の具体的な方向性、可能性、特性を活かすために今、何をすべきか。 全国画一的な施策ではなく、養父市自らが施策を考えて実施すべき ①養父市教育特区 学校設置会社による学校設置 ②養父市どぶろく村特区 農家民宿等における濁酒の製造免許の要件緩和 ③国家戦略特区の活用 ④農業の活性化につながる規制改革メニュー提案・活用 ⑤古民家への旅館業法の適用除外 養父市→全国展開 ⑥過疎地域等での自家用車の活用拡大 ⑦テレビ電話による遠隔服薬指導 養父市提案→全国展開 等、 なぜ、国が取り組んでいない試みを次々と打ち出し取り組んでいるのか、人口減少が進む養父市では、高齢化や離農による担い手不足により、地域のアイデンティティの源である農地が守れなくなりつつあること、喪失への強い危機感からである。 「お笑い」の力で地域活性化 吉本興業ホールディングス（株）代表取締役副社長 泉 正隆 あなたの街に住みますプロジェクトを企画し、芸人と二人三脚で地域活性化に貢献し、地域資源の掘り起こし、魅力の発見、笑いとのコラボレーションで地域に根差し、地域の人々とまちのよさを発信している。上手く行かなかった企画も紹介しながら、何故上手くいかなかったか？それぞれの芸人の持ち味も活かして取り組むプロジェクトや、もともと有るものにスポットをあて、アプローチを変えていくだけで、このように継続的に集客できて、口コミも広がっていくことは、富士宮市にも活かしていけるのではないかなと思う。		

地域マーケティングによる戦略的なまちづくり

秋田大学教育文化学部地域文化学科 益満 環

産学官の連携とは、産（企業）・学（企業）・官（自治体）が協力し連携して、日本酒を造り、大仙市の地域活性化に貢献している。

酒蔵の協力を経て、大学生が一年かを通して、種まき、田植え、稲刈り、こうじ造り

酒母造り、もろみ造り、搾り、瓶詰、販売・PRまで一貫して学生たちが関る。日本酒を造るだけでなく、日本酒を活用した地域活性化が最終目標

商品力と発信力のバランス

テレビ、新聞、インスタグラム、YouTube、ラジオ、広報誌、販売会による情報発信をすることで、あらゆる世代へのアプローチと知名度をあげた結果がブランド力にも繋がっている。

成果として外務大臣に贈呈し「地方を世界へ」プロジェクト

自治体交流、海外研究者との交流、効果的なメディア戦略で県外からの集客に繋がる。

産学官の連携成功の要因として

- ①共通の志と目的を共有する。
- ②資金・人材を確保する。
- ③既存の地域資源を活用する。
- ④とことんコミュニケーションをとる
- ⑤多くの人・組織・地域を巻き込む

二つのサイクルを回す

地域活性化のサイクルと経済活性化のサイクル

それぞれの立場や活動範囲をこえて連携すること、他人事ではなく、自分事として捉えてもらえるように、仕事や趣味、興味、得意なことを活かせる形で行う。

産学官連携がうまくいかない理由のほとんどが「ヒト」に起因する。だから人選は特段の配慮が必要。

大学が核となり大学生が子どもたちや若者が未来に対して希望を持ち当事者意識を持てる取り組みを是非、富士宮市で取り組んでいきたい。

地域ブランディングのケーススタディ

～地域資源を活用した“香り”とプロダクト開発の道のり～

株式会社 CARATA 代表取締役 矢田部 美里

東京都出身で、幼少期を米国ロサンゼルスで過ごした方で、大学卒業後、企業に就職し、新規事業の立ち上げに携わる。2018年に人口5万人の宮崎県に移住し、地域おこし協力隊に着任、空き家対策や古民家再生など地域のまちづくりに携わり、地域の人が自分のまちを再評価する体験をする。2022年に日本のクラフトフレグランス会社を立ち上げ、香りで日本を呼び起こすミッションに、日本の地域を訪れ、その土地の文化や風習を作った香りを作ることで、失われつつある日本の情景を次世代に繋ぐことを目指している。かなりのお金や、時間をかけても、商品化できなかったものを、矢田部さんの発想とアプローチ、情熱と人を繋ぐことで、商品化に繋げ、ブランド力をつけることで、付加価値を高める、層を絞るアプローチの方法、それぞれの方法で地域の活性化を学ぶことができ、これからどのように市町の在り方について考えていくのか、これからは活かしていきたいと思います。

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案	令和 6 年 5 月 21 日	決 裁	令和 6 年 5 月 21 日		
所 属		氏 名		備 考	
1	無会派	岩村恵美			
2					
3					
4					
5					
研修市町村		研 修 先		研 修 名	
東京都千代田区		東京都千代田区神田駿河台1 ー1 明治大学アカデミーコ モン棟3階 アカデミーホール		第16回 2024年日本自治創造学会 研究大会	
研 修 目 的					
自治体改革や議会改革に関する講演を拝聴し、先進地自治体の事例をはじめ、 さまざま自治体の取組を学ぶ。					
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
東京都台東区浅草橋		令和6年 年 5 月 30 日		令和6年 年 5 月 31 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	15000円
内 容	第16回2024年日本自治創造学会研究大会に参加 する為の参加費
目 的	自治体改革や議会改革に関する講演を拝聴し、先進 地自治体の事例をはじめ、さまざま自治体の取り組み を学ぶ。
支 出 先	財団法人 日本自治創造学会
支払年月日	令和6年5月30日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美一名	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

岩村 恵美 様

No. 

金 額

但 第16回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2024年 5月 30日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

一般財団法人

日本自治創造

理事長 穂 坂 邦

東京都千代田区神田佐久間

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	31,580 円 ✓
内 容	第16回 2024年 日本自治創造学会 研究大会に参加するための旅費
目 的	自治体改革や議会改革に関する講演を拝聴し、先進地自治体の事例をはじめ、さまざま自治体の取組を学ぶ。
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和6 年 5 月 21 日
その他特記事項(参加者・人数等) 岩村恵美 一名	

ー 領収書等貼付欄 ー

別紙のとおり

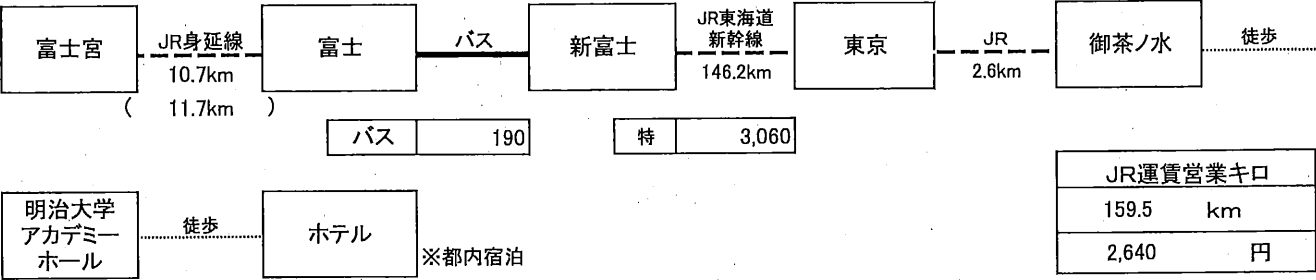
旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目： 令 和 6 年 5 月 30 日 (木)

【研修】2024年度日本自治創造学会研究大会 個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

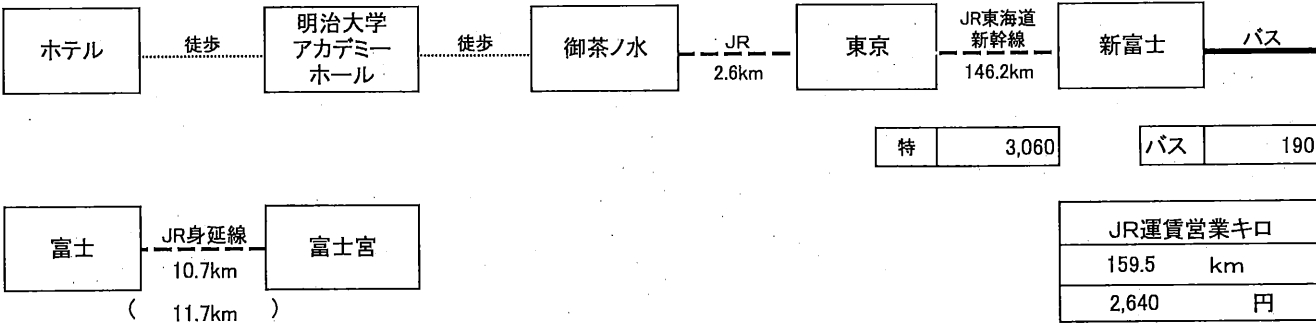
明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)



● 2 日 目： 令 和 6 年 5 月 31 日 (金)

【研修】2024年度日本自治創造学会研究大会 個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)



鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,780 円 × 1 人 = 11,780 円		
	私 鉄	円				
特 急 料 金	通 常	6,120 円	日 当	1,650 円 × 2 日 × 1 人 = 3,300 円		
	閑 散	円				
	繁 忙	円				
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円 × 1 夜 × 1 人 = 16,500 円		
船 賃		円				
車 賃 (バ ス)		380 円				
1人往復運賃合計 A		11,780 円	旅費合計	31,580 円/人 × 1 人 = 31,580 円		

研修報告書

	会 派 名 無会派
研 修 年 月 日	2024年5月30日～5月31日
研 修 名	日本自治創造学会 第16回研究大会 個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する
参 加 者	岩村 恵美
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	《第1日目 5月30日》 ・吉川 洋 地方自治体の目指す道 ・牛山 久仁彦 個性ある自治体づくり ・土山 希美枝 「政策議会」の理論と実践 ・江藤 俊昭 新たな地方議会の創造“議会からの発信”「住民自治に根幹」としての議会の作動 ・青野 高陽 賢く収縮するまちづくり 《第2日目 5月31日》 ・河野 太郎 デジタル導入の価値を考える ・新井 肇 今、求められる子どもの自殺予防 ・臼田 裕一郎 地方自治体と防災DX - 令和6年能登半島地震を踏まえ- ・山下 祐介 住民目線のまちづくり“都市の正義が地方を壊す” 各講師の方々の講義を聞かせてもらい、今、まさに感じていること何のために、誰のために、5年、10年、20年先を見通した政策になっているのか。どんなまちづくりにしたいのか、明確なビジョンを確立する方法、どんなやり方をしてきたのかを、具体的な取り組みの方法。 税収や地方交付税が減り、今後、財源不足が進むのはわかりきっている。その中で行政需要に的確かつ効率よく対応するためには、時代に合っていないものはないか、無駄な使い方になっていないか非効率になっているものはないか、住民のニーズに対応できているかの見直し、将来を見すえ必要なものは、しっかりと残すことの重要性を学ぶことができた。 地方自治体の目指す道とは、日本の人口の推移、年齢を3区分に分けた推移、出生数及び合計特殊出生数、一人当たりの名目GDP、世界競争ランキング企業効率性などをグラフと数値化し、各市町がどのようにマネジメントしていくのか。 これらのことを踏まえて、今後、当市がどのようにしていくのがベストな道筋なのかをイメージしながら予算、決算審議にいかしていきたいと思います。

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和6 年 7 月 18 日	決 裁	令和6 年 7 月 18 日
所 属		氏 名	備 考
1	無会派	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
静岡県静岡市葵区		静岡労政会館	子どもアドボカシー勉強会
研 修 目 的			
子どもアドボカシーについての勉強。どのように子どもたちにアプローチし、周知していくのかを学ぶため。			
		出発年月日	帰省年月日
		令和6 年 7 月 19 日	令和6 年 7 月 19 日

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	3000円 ✓
内 容	子どもアドボカシーについての勉強会参加費
目 的	子どもアドボカシーについての勉強 どのように子どもたちにアプローチし、周知していく のかを学ぶため。
支 出 先	子どもアドボカシーセンターしずおか
支払年月日	令和6年7月19日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美一名	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

岩村恵美

様

No.

金 額

				4	3	0	0	0	-
--	--	--	--	---	---	---	---	---	---

内 訳

現 金

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但

勉強会

2024年7月19日 上記正に領収いたしました

子どもアドボカシーセンターしずおか

代表 白井千

収入印紙

登録番号

GR266324

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	3,370 円
内 容	子どもアドボカシー勉強会参加する為の旅費
目 的	子どもアドボカシー勉強とアプローチを学ぶため
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和 6 年 7 月 18 日
その他特記事項 参加者・人数等)	
岩村恵美一名	

ー 領収書等貼付欄 ー

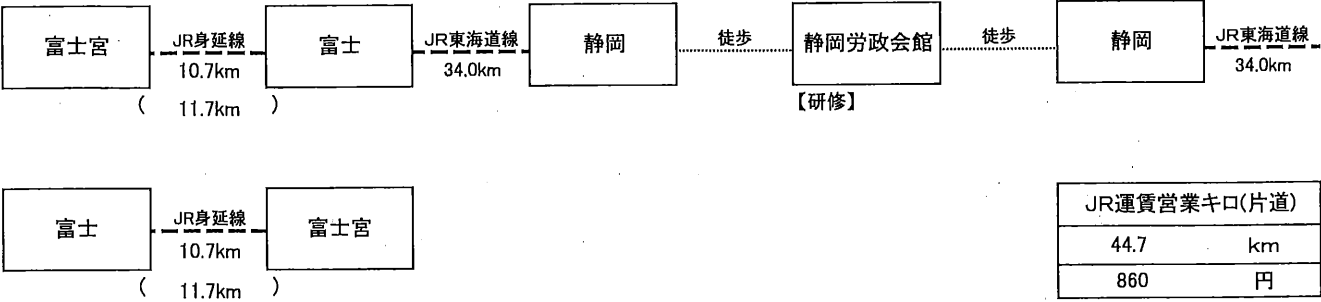
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 7 月 19 日 (金)

【研修】静岡労政会館(静岡市葵区黒金町5-1)「子どもアドボカシー勉強会」



鉄 道 賃	J R	1,720 円	運賃 A	1,720 円	×	1 人	=	1,720 円
	私 鉄	円						
特 急 料 金	通 常	円	日 当	1,650 円×	1	日×	1 人	= 1,650 円
	閑 散	円						
	繁 忙	円						
航空運賃	料 金	円	宿 泊 料	16,500 円×	0	夜×	1 人	= 0 円
船 賃		円						
車 賃 (バ ス)		円						
1人往復運賃合計 A		1,720 円	旅費合計	3,370 円/人	×	1 人	=	3,370 円

研修報告書

		会派名	無会派
研 修 年 月 日	2024年7月19日		
研 修 名	子どもアドボカシー勉強会		
参 加 者	岩村 恵美		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	子どもアドボカシーとは、子どもの側に立って、子どもが思いや意見を表現できるようにサポートしたり、環境をつくること。 子どもアドボカシーを実践する人を「アドボケイト」という。 アドボカシー＝声を上げること 子どもアドボカシーの6原則 ①エンパワーメント ②子ども主導 ③独立性 ④秘密を守る ⑤機会の平等 ⑥子どもの参加 2016年、改正児童福祉法の中に すべて児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に療育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されることとある。 第2条 その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されるとある。 色んな事件となって初めて、実態を知り、ありえないようなことが密室で行われていること。SOSを発信したにもかかわらず、届かず改正されても、なかなか実践されていない現状がある。 しっかりとその声を聞くことの重要性を改めて、認識し、実践していくこと、伝えていくことの必要性を感じた。		

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和6年 7 月 19 日	決 裁	令和6年 7 月 19 日
所 属		氏 名	備 考
1	無会派	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
静岡県静岡市葵区		静岡労政会館	食と農を韓国に学ぶ
研 修 目 的			
食と農を考える自治体間の取り組みと現状			
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
		令和6年7月22日	令和6年7月22日

政 務 活 動 費 用

No.

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	2 0 0 0 円
内 容	食農議連勉強会の参加費
目 的	食と農を考える自治体間の取り組みと現状について
支 出 先	食と農を考える自治体議員連盟しずおか
支払年月日	令和6年7月22日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美一名	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 書

No. _____

岩村恵美

様

金 額

¥2,000.-

内

消費税等

但

食農議連 2024年7月22日勉強会参加費

食と農を考える自治体議員連盟しずおか

2024年 7 月 22 日

伊豆の国市菰山山木1223

上記の金額正に領収いたしました



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	3,370 円
内 容	食農議連勉強会に参加する為の旅費
目 的	食と農を考える自治体間の取り組みと現状について学ぶため
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和 6年 7 月 20 日
その他特記事項 参加者・人数等) 岩村恵美一名	

ー 領収書等貼付欄 ー

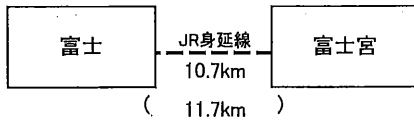
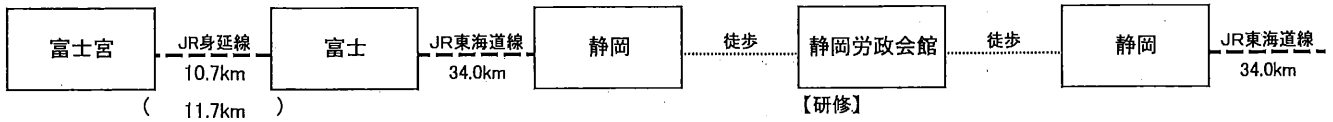
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目 : 令和 6 年 7 月 22 日 (月)

【研修】静岡労政会館(静岡市葵区黒金町5-1)「食と農を韓国に学ぶ」



JR運賃営業キロ(片道)	
44.7	km
860	円

鉄 道 賃	J R	1,720 円	運賃 A	1,720 円 × 1 人 = 1,720 円				
	私 鉄	円						
特 急 料 金	通 常	円	日 当	1,650 円× 1 日× 1 人 = 1,650 円				
	閑 散	円						
	繁 忙	円						
航空運賃	料 金	円	宿泊料					
船 賃		円		16,500 円× 0 夜× 1 人 = 0 円				
車 賃 (バ ス)		円						
1人往復運賃合計 A		1,720 円	旅費合計	3,370 円/人 × 1 人= 3,370 円				

研修報告書

		会派名	無会派
研修 年 月 日	2024年7月22日		
研修名	食と農を韓国に学ぶ		
参加者	岩村恵美		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	1 部 韓国の親環境無償給食 吉田 韓国視察を通して考えた農業 江本陽子 希望の給食を目指して 白石孝 2 部 会員による県内自治体の取り組み状況の報告 食を考えることは地球の未来につながる 市民と行政を結び、政策提案を行うことを目的としている。 実際に農業を生業とする市議会議員の方の話も聞きながら、慣行農法から化学農薬や化学肥料に頼らない有機農業に移行するには何が必要なのか。 それぞれの地域に合った「みどり戦略」への政策提言を目指す。 他の自治体の現状を知り、協力しながら、アイデア、アドバイスを 出し合う場となった。 まだまだ課題が多くあるが、一つ一つ進めて、クリアーしていく方法のヒントを得られた。 それぞれのもっている課題や知識を得られ、共有して進めていくことで、より実現に向けて加速していけるように感じた。		

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案	令和 6 年 10 月 21 日			決 裁	令和 6 年 10 月 21 日
所 属		氏 名		備 考	
1	無会派	岩村恵美			
2					
3					
4					
5					
開催日				研 修 名	
令和6年10月22日		オンラインリモート 講演会		第 2 9 回清溪セミナー	
研 修 目 的					
全国自治体の先進事例を学ぶため					

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1 0 0 0 0 円
内 容	清溪セミナーオンデマンド視聴参加費
目 的	全国自治体の先進事例を学ぶため
支 出 先	清溪セミナー実行委員会
支払年月日	令和6年10月22日
その他特記事項（参加者・人数等）	
岩村恵美 1名 受講料 10000 円	

— 領収書等貼付欄 —

No. 

領 収 書

静岡県

2024年10月22日

富士宮市議会 岩村恵美 様

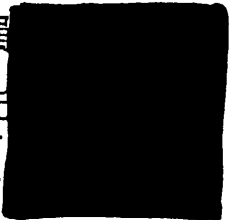
¥10,000. —

第29回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘
日本青年館

TEL 03-6452-9015



研修報告書

	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">会 派 名</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">無会派</td> </tr> </table>	会 派 名	無会派
会 派 名	無会派		
研 修 年 月 日	2024年10月22日～10月23日		
研 修 名	清溪セミナー		
参 加 者	岩村恵美		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	講義Ⅰ 進化する里山資本主義 講師 藻谷 浩介 氏 平成合併前の全 3200 市町村、海外 133 カ所を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口熟成問題、観光振興などに関する研究。 全数調査の数字から算数で事実を確認（噂や感覚ではなく）根拠毎年日本が貿易赤字の国はどこなのか。 スイスとイタリアこれらの国の 人口はスイス人口8百万人 イタリア人口6千万人 これはどういう事なのか？国際競争力とは？ 日本の過疎地、ここは何もない。そうだろうか？物の価値を高く売る努力しているだろうか。 スイスには文科省がない。村単位、地域を大事にする教育 現在は昭和どころか平成も終わっている。世の中はすっかり変わった。昭和の価値観で判断しているとやっぱり間違ってしまう。 令和の現実を学ぶべき。改めて、この富士宮市の価値を見直すべきと感じた。 講義Ⅱ オーガニック給食の実践 講師 鮫田 晋 氏 2013年、市が主導して、もともと何もないところからスタートした有機米づくり。最初から上手くいったわけではなく、どのように試行錯誤していき、どのように普及していったのか、知ることができた。世界の給食がオーガニックに変わっていること。デンマーク、スイス、イタリア、フランス、韓国など。 イタリアは州法によって2歳までの保育園児の給食は100%有機にすることを規定している。 学校給食全量有機米に向けてどのようなプロセスを踏んだのか普及、啓発をどのように取り組んだのかも知ることができ、私自身の今後の活動が明確になった。 また、いすみ教育ファームとして「田んぼと里山と生物多様性」を学ぶ授業や、年間を通して、土づくりから、田植え、収穫、脱穀すべてを学校で子どもたちが学ぶことができる。 またブランド米として JAL のファーストクラスで採用されている。付加価値をつけることや、売り先としても足りないほどである。まさにこの富士宮市で提案していきたいことが詰まっている。		

講義Ⅲ ゼロカーボンシティを目指して 講師 太田 昇 氏
～脱炭素先行地域「真庭」の挑戦～

現役、市長の講義であったが、5 年先、10 年先をきちっと見据えた投資と戦略であると感じた。また取り組んだことが、間違いもあったと常に結果や成果を見ている点と謙虚さも感じた。

地方は国の事務処理機関ではないこと。行政経営していくべき。日本の幸福度が世界の 62 位、若者の自殺率が先進国でトップであること。食料自給率がカロリーベースで 38%しかないこと、行政の職員ができるようになること→委託ではなく。

東京にはなくて真庭にあるものは？

地域価値をあげる取り組みを行った結果→女性観光客が増え、お土産など客単価アップにつながっている。

講義Ⅳ 微生物の力で燃やせるごみをエネルギーに再資源化

講師 見澤 直人

2009 年より微生物による好気性発酵技術開発を始める。

現在香川県三豊市は燃やさずにごみを処理している。

4500 人分の一年間の排出削減→化石燃料にしている。

リサイクル率 64%、ゴミはすべて資源であり、燃やさない。

トンネルコンポスト方式 ゴミと微生物、木質チップをいれる。

もっとしっかり学んで富士宮市にあった方法を提案していきたい。

講義Ⅴ SDGs の行政事務での活用 講師 高木 超 氏

SDGs とはざっくり説明すると

①世界中が共通して取り組む目標。②達成期限は 2030 年

③317 目標 169 ターゲット 231 指数

問題も解決も多様な視点から考えなければならない。

SDGs 達成に必要なことは、多様な人が連携し、目標達成に向けて取り組むこと。今一度問い直すとこの重要性を感じた。

講義Ⅵ 未来の子どもたちへ地球を引き継ぐために

講師 谷口 たかひさ 氏

家を持たず世界を飛び回る環境活動家&実業家&作家

10 代の時に企業し、イギリスへ留学。ドイツで気候危機の深刻さを目の当たりにし、環境活動家に。

世界中を見て回り、その時その時で行動してきた人だからこそ、響いてきた。今まさに起こっていることな、私たちに危機感がなさすぎる。日本には食料がない。自給率を考えても輸入が止まれば 7000 万人飢える。世界の食料援助量は約 390 万トン日本の食品ロス 612 万トン。無関心でいられても、無関係ではいられない。もう地球は温暖化ではなく沸騰している。現に世界のあちこちで、山火事に覆われている現実がある。みんなが知れば必ず変わる。わたしたちは、気候危機を阻止できる最後の世代。

いまできる行動をしようと改めて感じた。

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案	令和6年 11月 12日		決 裁	令和6年 11月 12日	
所 属		氏 名		備 考	
1	無会派	岩村恵美			
2					
3					
4					
5					
研修市町村		研 修 先		研 修 名	
滋賀県大津市		全国市町村国際文化研究所		令和6年度市町村議会議員研修 「3日間コース」第2回「新人 議員のための地方自治の基本」	
研 修 目 的					
新人議員のための地方自治の基本をより深く学ぶため					
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
滋賀県大津市		令和 6 年11月18日		令和 6 年11月20日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1 1 3 8 5 円
内 容	市町村議会議員研修 [3日間コース] 第2回「新人議員のための地方自治の基本」参加費
目 的	新人議員のための地方自治の基本をより深く学ぶため
支 出 先	(公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所
支払年月日	令和6年11月12日
その他特記事項 (参加者・人数等) 岩村恵美 参加費 1 1 0 0 0 円 振込手数料 3 8 5 円 合計 1 1 3 8 5 円	

— 領収書等貼付欄 —

おやしんネットキャッシュサービス
お取扱明細票

④ 富士宮信用金庫

お 取 扱 日		お取扱店番・受付番号	
06 11 12		[REDACTED]	
お 取 引 店		口 座 番 号	
[REDACTED]		[REDACTED]	
お取引金額	万円券	千円券	500円
100円	50円	10円	5円
1円			
お取引内容	お引出	お取引金額	
手数料	¥385	通帳員	
時 刻	15:13	お取引金額	¥11,000*
説明コード		お取引後残高	[REDACTED]
サイ)セ"ンコクシチヨウソクケンシユウサ" イタン 様 イワムラ イミ様 [REDACTED]			

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	2 4 6 5 0 円
内 容	市町村議会議員研修〔3日間コース〕の旅費
目 的	新人議員のための地方自治の基本をより深く学ぶため
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和6年11月12日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

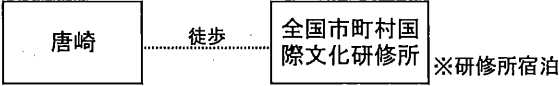
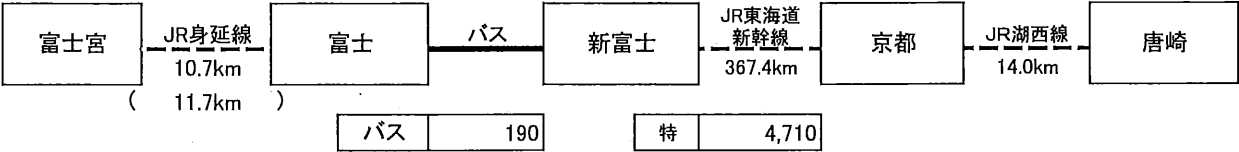
旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目：令和6年11月18日(月)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]第2回「新人議員のための地方自治の基本」

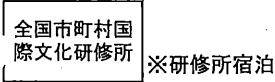


JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

● 2 日 目：令和6年11月19日(火)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

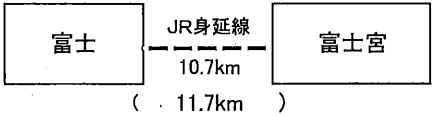
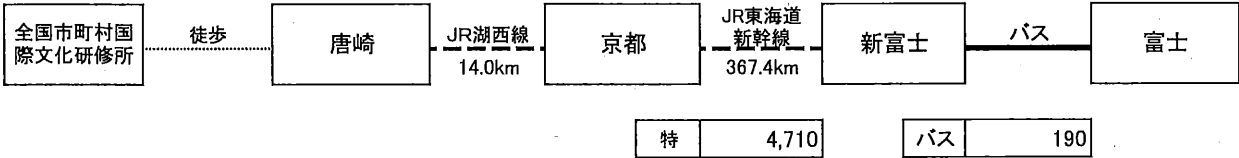
※市町村議会議員研修[3日間コース]第2回「新人議員のための地方自治の基本」



● 3 日 目：令和6年11月20日(水)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]第2回「新人議員のための地方自治の基本」



JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

鉄 道 賃	J R	13,200 円	運賃 A	23,000 円	×	1 人	=	23,000 円
	私 鉄	0 円						
	通 常	9,420 円						
	閑 散	円						
特 急 料 金	繁 忙	円	日 当	1,650 円	×	1 日	×	1 人 = 1,650 円
	料 金	円						
		円						
航空運賃		円	宿泊料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
船 賃		円						
車 賃 (バ ス)		380 円						
1人往復運賃合計 A		23,000 円	旅費合計	24,650 円/人	×	1 人	=	24,650 円

受講料に食費・研修生活活動費含む(最終日の昼食は研修経費に含まれていない)

研修報告書

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">会 派 名</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">無会派</td> </tr> </table>	会 派 名	無会派
会 派 名	無会派		
研 修 年 月 日	令和6年11月18日～11月20日		
研 修 名	第2回「新人議員のための地方自治の基本」		
参 加 者	岩村恵美		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	地方自治の制度の基本 野田 遊 氏 財政力指数 1以上は愛知県と南関東に集中している。 行財政改革は何のためにするのか。 急速な人口減少と少子高齢社会の中で、どうあるべきかを人口形態や財政力指数が似ている自治体との比較しながら、 公共施設の統廃合、民間移管、デジタル技術の活用、削減、効率化 広域連携のために、富士宮市としてはどんな仕組み方法があるのか、 上手く機能した自治体や失敗した例を学び、これからの行政改革の根拠を示し具体的に提案していく。 持続可能のための選択肢→削減、合併、連携 広域連携の効果に関する研究も進んでいるので、常にアンテナを張って情報収集をしていく。 合併のデメリットをどのように解消していくのか。 議員定数と報酬による今後の議員像 議員報酬の格差 なり手の問題 60代以上(都道府県4割、市町村5割、町村議8割) 選挙制度の問題点として定数の少ない府県→自民党優勢 広報 住民の認識は低く期待水準は高い 伝わる広報の工夫、対話、対象者別、継続するにはどうしたらよいのか。若者世代がどうしたら信頼してもらえるのか、もっと工夫をしていく必要性を改めて感じた。 元議長が語る「住民から近くて遠い地方議会から近くて近い地方議会」への一考察 江上 隆行 氏 議員は全体の奉仕者としての言動を 議会機能を使いこなそう 議員力延いては議会力の強化を図るための一方法 「質問」「質疑」のルールを守ろう。 地方議会と自治体財政 金崎 健太郎 氏 予算は全て行政サービスをどのようにしていくのか。 行政サービスをすることが目的 決算は仕事をしたかどうか？使ったかどうか？のみ 国と地方の財源配分と地方歳入の状況		

地方交付税、法定率の推移
地方財政の借入金残高の推移
経常収支比率→現在と将来どうなるのか

条例と政策の審査・立案 吉田 利宏 氏
執行部の政策の特徴と議会からの政策提案
法律補完型条例の作り方
新しい価値の提案の提示型条例
政策立案に為のスキルアップ
住民の声から「どうしてほしいか」「何が問題なのか探る」
条例の典型的な規定 法令の構造

これからの地方議員に期待されていること 大山 礼子 氏
議会の役割

多様な住民の声

住民の意見を反映する。

住民と情報共有する。

そもそも議会は多様な住民を代表しているか

男女の比率

多様な議員の参画によって何が変わるのか。

政策が変わる。審議が活性化する。住民の信頼がます。

無投票の増加

多様な地方議会を実現するにはどうすればよいのか。

人材を育てる。立候補を支援する。選挙制度を見直す。

議員報酬と無投票団体

政務活動費の透明性アップで住民の納得を得る

政務活動費を有効活用して議員の向上につなげる。

情報「提供」ではなく、「共有」を受けて、大山先生にも自分のやってきた選挙の方法や、これから取り組んでいく考えを発表させていただき、共感して頂いたことも形にしていきます。

データや資料、世界と比べてどうなのか、何が問題でどのようにアプローチしていくのか。先進事例を踏まえ各分野のスペシャリストの講師による講義を3日間受けさせていただきました。早速実践していき、他の議員にも情報共有していきます。

受講証明書

団 体 名 : 静岡県 富士宮市

所属・氏名 : 富士宮市議会 議員 岩村 恵美

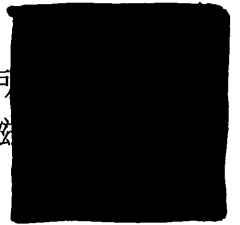
研 修 名 : 令和6年度 市町村議会議員研修 [3日間コース]
第2回 「新人議員のための地方自治の基本」

期 間 : 令和6年11月18日 (月) ~ 11月20日 (水)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和6年11月20日

全国市町村国際文化研修所
学 長 荻 澤 滋



研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和6 年 12 月 1 日	決 裁	年 12 月 1 日
所 属		氏 名	備 考
1	無会派	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
東京都新宿区		地方議員研究会	新人議員研修全国キャラバン
研 修 目 的			
議員活動の本質や役所の体制を学び、活動に活かす為			
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
		令和6 年 12 月 7 日	令和6 年 12 月 7 日

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	5 3 8 5 円
内 容	新人議員研修全国キャラバン参加費
目 的	財政のポイントや役所の仕組みと予算スケジュール
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和6年11月29日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美 参加費 5 0 0 0 円 振込手数料 3 8 5 円	

— 領収書等貼付欄 —

おやしんネットキャッシュサービス
お取扱明細票

⑤ 富士宮信用金庫

お取扱日	06.11.29	お取扱店番・受付番号	
お取引店		口座番号	
お取引金額	万円券 千円券 500円 100円 50円		
お取引内容	お引出	手数料	¥385
時刻	12:42	お取引金額	¥5,000*
説明コード		お取引後残高	

シヤ)シーケーセミナー様

イワムラ エミ様

2024 年 12 月 7 日

領 収 証

様

富士宮市議会 岩村恵美

¥5,000

★

12/7 新人議員研修

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北
大阪駅前第2ビル

TEL 050-68

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	1 3 4 3 0 円
内 容	議員活動新人研修のための旅費
目 的	議員活動の本質や役所の体制を学び、活動に活かす為
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和 6 年 1 2 月 6 日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美 1 名	

— 領収書等貼付欄 —

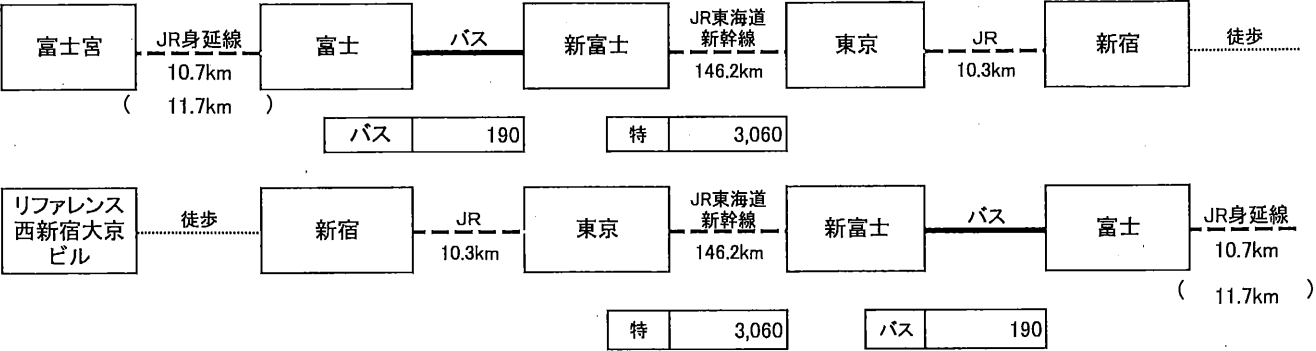
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 12 月 7 日 (土)

【研修】CKセミナー「議員活動新人研修」(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,780 円 × 1 人 = 11,780 円		
	私 鉄	円				
	通 常	6,120 円				
	閑 散	円				
特 急 料 金	繁 忙	円	日 当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円		
	料 金	円				
		円				
航空運賃		円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
船 賃		円				
車 賃 (バ ス)		380 円				
1人往復運賃合計 A		11,780 円	旅費合計	13,430 円/人 × 1 人 = 13,430 円		

研修報告書

		会 派 名	無会派
研 修 年 月 日	令和6年12月7日		
研 修 名	新人議員研修全国キャラバン		
参 加 者	岩村恵美		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	一期目にやってほしいこと、注意してほしいこと 首長は提案と執行に携わり、議員は対話と討論、調査、意思決定に携わる。首長と同様に「住民福祉の増進」（地方自治法第1条の2）という目的を実現するために、議会内で主に調査と意思表明を職務とする公務員である。との講義を聞き改めて、より明確になった。 。予算のスケジュールと役所の政策決定の仕組みを解説しながら、一般質問においては、予算を伴う提案の場合、いつまでに提案すべきか、など具体的な流れも把握することができた。 役所の体質 役所はその活動に間違いがあってはならない、又は、ある政策を成功させる責任を負った当事者の組織は、その政策が失敗した時のことを考えたり議論したりしてはいけないとする考え方。があると聞き、改めて文章としてみると納得することばかりであった。 成果があったのか、なかったのかも検討されず、何年も予算をとり活かされていないことをどのように、再検討するように質問していくべきか考えさせられた。 議員が本来的にすべきこと 役所を動かす質問の仕方 現状認識と課題認識の重要性 など半日では足りない内容でした。この研修を踏まえて、より踏み込んだ質問や提案をしていこうと思います。		

研修報告書

	会 派 名	無会派
研 修 年 月 日	令和6年12月10日	
研 修 名	地域医療勉強会	
参 加 者	岩村恵美	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	令和6年12月10日大富士交流センター第三会議室にて津田塾大学総合政策学部の伊藤由希子教授を講師に招き研修会を行った。伊藤教授は富士市新病院建設基本構想等審議会会長で、富士市の病院立替の現状や課題や問題点をデータを基に全国で同様の問題がある中で、富士医療圏でなにをすべきかより明確になった。 その中でも提言は、 両病院の医師の派遣の不足 富士市との地域医療の連携を継続するならば令和7年の前期まで何らかの協議をすべきである。 広域連携、地域連携と言われているにも関わらず、当市が話あいの中に加わっていないのもかなりの問題である。 この二つの課題を私たち議員として行動したら良いか考えさせられる研修であった。	

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	34 円
内 容	勉強会会場使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 11 月 22 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

第1号様式(第2条関係)

富士宮市大富士交流センター指定管理者
(公財)富士宮市振興公社

富士宮市大富士交流センター使用許可書兼領収書

令和 6 年 11 月 22 日

住所 富士宮市黒田 59-1
団体名 富士宮市議会地域医療勉強会
氏名又は代表者名 中野健太郎
(連絡責任者)

富士宮市大富士交流センターの使用について、下記のとおり許可します。

使用日時	令和 6 年 12 月 10 日 (火) 曜日 9 時 00 分 から 12 時 00 分 まで 令和 6 年 12 月 10 日 (火) 曜日 12 時 00 分 まで	☒ 下記のとおり	
行事名 ・ 内容	研修会	入場予定者数	15 人
		入場方法	無料・有料 商業宣伝・その他
会場責任者	〒 住所 氏名 同上 (電話番号)	入場 料金	0 円
備考 (附属設備使用)	1. 音響装置 6. ピアノ 2. プロジェクター 7. PA 3. スクリーン ⑧ Wi-Fi 4. 演台 9. その他 5. 舞台 ()	(基 ・ 営・市外・入場料) 利用料	550 円
		受領印	領収 現金取扱員 6.11.22 富士宮市振興公社 消費税10%(税込) (消費税等 55円)

※許可番号	
※許可年月日	6.11.22

	使用日時(曜)・区分														
	12月 10日 (火)			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
集会室1															
集会室2															
会議室1															
会議室2															
会議室3	○														
会議室4															
和室															
調理室															

許可条件 富士宮市大富士交流センター条例、同施行規則及び係員の指示を守ること。

(注) 使用の取消と既納利用料の還付について

取消の場合は、使用日の8日前まで全額還付、7日前から4日前まで7割還付、3日前のみ5割還付
2日前から当日は還付がありません。

※上記の日時まで窓口にて取消手続きを行わないと、既納利用料の還付はできません。

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	875 円
内 容	講師謝礼
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講師謝礼
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 14,000円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の講師料として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所
氏名

〒[REDACTED]

伊藤由希子



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	711 円
内 容	講師交通費
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項 目	会議費	内 容	講師交通費
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 11,380円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の交通費として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒
氏名 伊藤 由希子



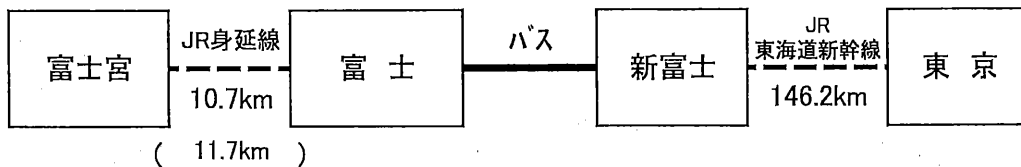
旅費計算書(政務活動費)

会議費

研修: 地域医療勉強会

会場: 大富士交流センター 第3会議室(富士宮市万野原新田4136-6)

● 令和6年12月10日(火) (往復) ※閑散期



バス 190

特閑散期 2,860

JR運賃営業キロ	
	156.9 Km
	2,640 円
バス	190 円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,380 円 × 1 人 = 11,380 円					
	私 鉄	円	日 当	円× 日× 人= 0 円					
特 急 料 金	通 常	円							
	閑 散	5,720 円							
	繁 忙	円							
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	円× 夜× 人= 0 円					
		円							
車 賃 (バ ス)		380 円							
		円							
1人往復運賃合計 A		11,380 円	旅費合計	11,380 円/人 × 1 人= 11,380 円					

※旅費計算表に基づく

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	68 円
内 容	勉強会プロジェクター使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	会場プロジェクター使用料
領収書等貼付欄			

領収書

発行日 令和6年12月10日

地域医療勉強会 様

¥ 1,100

但し、令和6年12月10日 利用の備品代として
上記正に領収いたしました。

内訳

税率	税抜金額	1,000	円
10%	消費税額	100	円
税率	税抜金額	0	
8%	消費税額	0	

富士宮市

大富士交流センター 指定管理者
(公財) 富士宮市振興公社
Tel 0544-28-0024
登録番号：T1080105003625



No. [Redacted]

令和 6 年 12 月 4 日

津田塾大学 総合政策学部
教授 伊藤 由希子 様

地域医療勉強会
幹事 望月 芳将
中野 健太郎

地域医療勉強会の講師について(依頼)

師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記議題をテーマに地域医療勉強会を開催することとなりました。
つきましては、御多用の折誠に恐縮ですが、勉強会にて講師を依頼したく、よろ
しくお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 令和 6 年 12 月 10 日(火)午前 10 時から 11 時 45 分まで
- 2 場 所 大富士交流センター第 3 会議室
(富士宮市万野原新田 4136-6)
- 3 対象者 富士宮市議会議員 14 名
- 4 勉強会の議題
地域医療の現状、自治体病院の在り方について等
- 5 謝礼等 謝 礼 14,000 円
交通費 11,380 円

以上

問い合わせ先

富士宮市議会議員 中野 健太郎

電話(0544)27-6035 携帯

e-mail

12月10日(火)地域医療勉強会参加者名簿

No.	出欠席	会派	氏名
1	✓	公明会	佐野 寿夫
2	✓	公明会	山藤 陽子
3	✓	明和	辻村 岳瑠
4	✓	明和	佐野 和也
5	✓	明和	芦澤 秀典
6	✓	明和	平下 尚己
7	✓	明和	中野 健太郎
8	✓	富岳会	佐野 和彦
9	✓	富岳会	臼井 由紀子
10	✓	至誠	鈴木 弘
11	✓	超党派虹の会	渡辺 佳正
12	✓	超党派虹の会	稲葉 晃司
13	✓	超党派虹の会	近藤 千鶴
14	✓	無会派	望月 芳将
15	✓	無会派	仲亀 恭平
16	✓	無会派	岩村 恵美
17			
18			
参加者合計		16	名

視 察 申 請 書

		予算項目		調 査 旅 費	
起 案	令和 6 年 9 月 30 日			決 裁	令和 6 年 9 月 30 日
所 属		氏 名		備 考	
1	無会派	岩村恵美			
2					
3					
4					
5					
視察市町村		視 察 先		目 的	
東京都北区		社会福祉法人東京都福祉事業協会 さくら荘・のぞみ保育園		老人施設と保育園のとの併設運営の調査と現地視察のため	
栃木県宇都宮市		トナリエ宇都宮		ライトレールによる公共交通の調査と現地視察のため	
東京都港区		港区子ども家庭支援センター		子育てひろばの調査と現地視察のため	
東京都千代田区		衆議院第一議員会館		国の子育て施策についての調査研究のため	
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
栃木県宇都宮市・東京都千代田区		令和 6 年 12 月 18 日		令和 6 年 12 月 20 日	

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	5 7 2 0 0 円
内 容	赤羽北さくら荘、宇都宮市、国会議員への視察の旅費
目 的	高齢者施設と保育所の複合施設、宇都宮コンパクトシティ、さまざま子育て施策の実例を学ぶため。
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和6年11月29日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美一名	

— 領収書等貼付欄 —

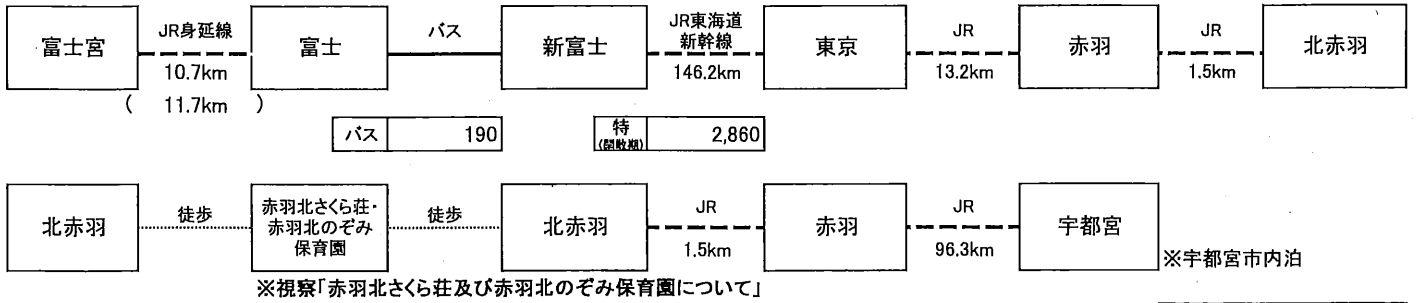
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目 : 令和6年12月18日 (水) 閑散期

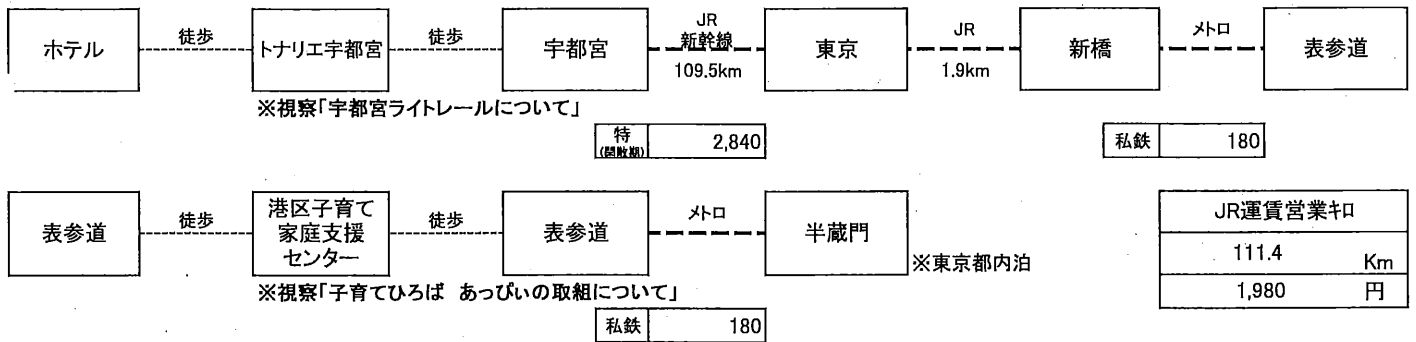
【視察】赤羽北さくら荘(東京都北区赤羽北3-6-10)、赤羽北のぞみ保育園(東京都北区赤羽北3-6-10)



JR運賃営業キロ	
269.4	Km
4,770	円

● 2 日 目 : 令和6年12月19日 (木) 閑散期

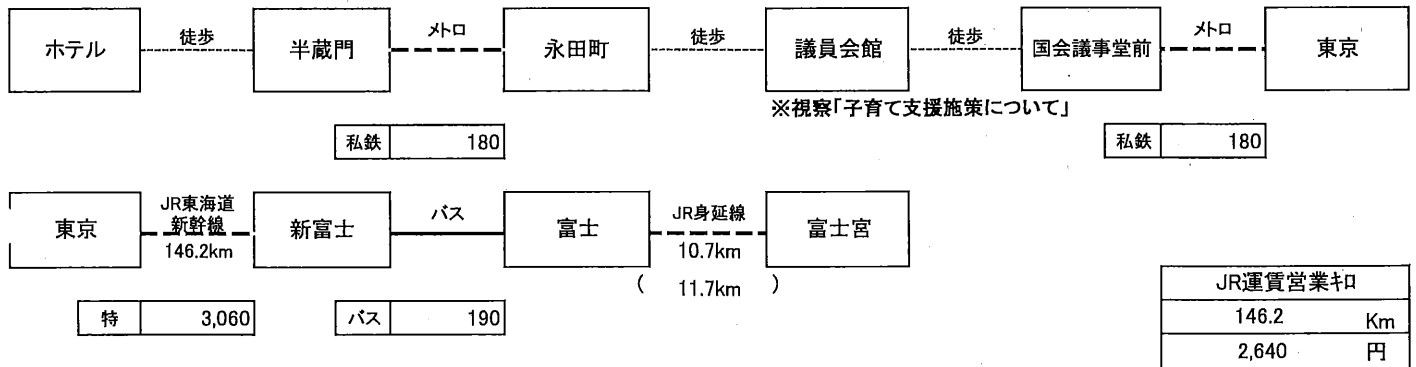
【視察】トナリエ宇都宮オープンスクエア(栃木県宇都宮市駅前通り1-4-6)、港区子ども家庭総合支援センター(東京都港区南青山5-7-11)



JR運賃営業キロ	
111.4	Km
1,980	円

● 3 日 目 : 令和6年12月20日 (金)

【視察】深澤陽一衆議院議員(衆議院第一議員会館:東京都千代田区永田町2-2-1)



JR運賃営業キロ	
146.2	Km
2,640	円

鉄 道 賃	J R	9,390	円	運賃 A	19,250 円 × 1 人 = 19,250 円			
	私 鉄	720	円		日 当	1,650 円 × 3 日 × 1 人 = 4,950 円		
特 急 料 金	通 常	3,060	円					
	閑 散	5,700	円					
	繁 忙		円					
航空運賃	料 金		円	宿泊料	16,500 円 × 2 夜 × 1 人 = 33,000 円			
車 賃 (タ ク シ ー)			円					
車 賃 (バ ス)		380	円					
1人往復運賃合計 A		19,250	円	旅費合計	57,200 円/人 × 1 人 = 57,200 円			

研修報告書

		会 派 名	無会派岩村恵美
研 修 年 月 日	令和6年12月18日～12月20日		
研 修 名	東京都北区さくら荘・のぞみ保育園 宇都宮市トナリエ宇都宮 東京都港区子ども家庭支援センター 東京都千代田区衆議院議員第一議員会館		
参 加 者	岩村恵美		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	社会福祉法人 東京都福祉事業協会 赤羽北さくら荘、赤羽北のぞみ保育園 令和6年12月18日、老人介護施設である赤羽北さくら荘と赤羽きたのぞみ保育園の併設の設置の経緯や運営状況などを伺った。施設は都内にあるが、開放的で設計も利用者も職員の働きやすさ、動きやすさも考えられていた。 施設の造りがよく考えられていて、下から子どもたちの声も聞こえてくる工夫がされており、子どもたちが、出し物を見せに慰問したり、地域包括支援センターと協働でマルシェを行ったりと、地域と施設との連携の在り方がとても新鮮で、富士宮市でどのような取り組みにできるのか、考えていきたい。 宇都宮ライトレール 令和6年12月19日、宇都宮市建設部 LRT 整備担当職員から、ライトラインのこれまでの経緯や運行について説明を受けた。 30年ほど前に工業団地への通勤渋滞緩和のため持ち上がった話だが、政治の影響や地元住民の理解をなかなか得られず、時と共にコンパクトシティの公共交通のインフラとしての役割も、になっている。何より住民の理解や活用してもらうため、1000回を超える説明会を開き、疑問点や改善点を一つ一つクリアして行った点、運行後、住民に活用してもらえる取り組みが、素晴らしと感じた。入学のお祝いにカードをプレゼンしたり、高齢者には、お祝い金の代わりにライトレールで利用できるポイントをプレゼントしたりと、日々の生活の中に取り入れてもらう工夫をしていた。 また、誰にでもやさしい乗降のしやすさ、揺れも少なく、整備のメンテナンスにお金がかからないようにする工夫も随所に取り入れられていた。 港区子育て家庭支援センター 令和6年12月19日東京都港区子ども家庭支援センターにて子育てひろば あっぴい の取り組みについて視察した。 これから始まる国の施策「子ども誰でも通園制度」の先進的な取り組みがなされていた。こうした取り組みを情報収集し区民が上手に活用しており、なにより、おむつ替えのおむつも無料で利用でき、できるだけ荷物の負担がないように、工夫しており、また毎月イベ		

	ントもあり、子育て世代が孤立しないよう、明るく、開放的な空間造りや楽しんで育てていける居場所としての取り組みがなされていて、当市でも是非取り組んでもらえるように提案していきたい。 子ども家庭庁における子育て支援施策について 令和6年12月20日衆議院第一議員会館にて、子ども家庭庁職員参加し、国の子育て支援施策について説明を受けた。 概要を把握することができたが、保育士や現場の声をもっと聞いて制度作りに取り組んでほしいと伝えた。取り組みは、各地方自治体で差が出てくるだろうし、どのように周知し必要な人に届けるかも課題になると感じたので、より具体的な提案をしていくために、とても勉強になった。
--	--

支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	2,000 円
内 容	行政視察の際の土産代
目 的	東京都港区子ども家庭支援センター視察の際のお土産代として
支 出 先	有限会社 ヤマヨシ サクライ製茶
支払年月日	令和 7 年 1 月 7 日
その他特記事項 参加者・人数等) お茶 2000円	

領収証

No. _____

岩村 恵美 様

7 年 / 月 7 日

金 額

4 2000

内

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

但 ☐

☒ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

現金・カード・()

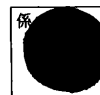
〒410-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘102

TEL (0544) 26 - 5415

FAX (0544) 23 - 7404

有限会社 ヤマヨシ サクライ製茶

登録番号



研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	7 年 3 月 1 日	決 裁	7 年 3 月 1 日
所 属		氏 名	備 考
1	無会派	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
東京都新宿区		地方議員研究会	「自治体病院と地方財政の基礎」「参加自治体の現状把握」
研 修 目 的			
自治体病院の今後のあり方についての研究のため			
宿泊地		出発年月日	帰省年月日
東京都千代田区		令和 7 年 3 月 2 5 日	令和 7 年 3 月 2 5 日

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	¥ 3 0 0 0 0
内 容	地方議員研究会主催の研修会受講料
目 的	自治体病院のあり方についての研修会に参加するため
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和7年 3月 25日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美 1名 受講料 3 0 0 0 0 円 3/25分 15000円×2講座	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

2025 年 3 月 25 日

富士宮市議会議員 岩村恵美 様

★

¥45,000

但 3/25.28 地域の医療を守る特別研修

研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市

大阪駅前第2ビル

TEL 050-6

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	¥ 1 3 , 8 3 0 —
内 容	地方議員研究会主催の研修会への旅費
目 的	議会質問についての研修会に参加するため
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和7年 3月 24日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美 1名	

— 領収書等貼付欄 —

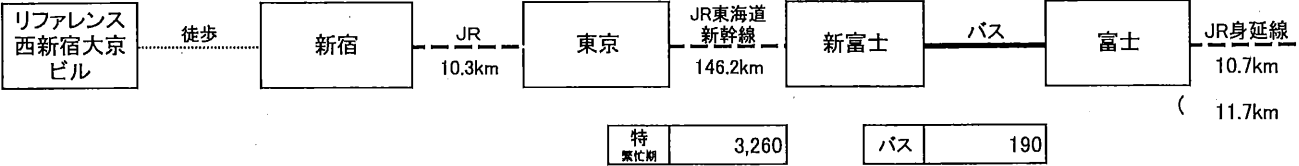
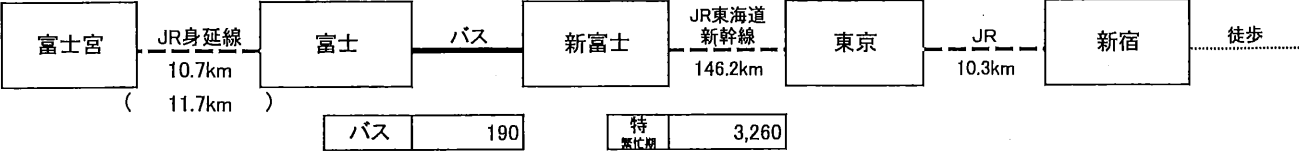
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目： 令 和 7 年 3 月 25 日 (火) 繁忙期

【研修】CKセミナー「自治体病院と地方財政の基礎」 「参加自治体病院の現状把握」(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	12,180 円 × 1 人 = 12,180 円				
	私 鉄	円						
特 急 料 金	通 常	円	日 当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円				
	閑 散	円						
	繁 忙	6,520 円						
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円				
船 賃		円						
車 賃 (バ ス)		380 円						
1人往復運賃合計 A		12,180 円	旅費合計	13,830 円/人 × 1 人 = 13,830 円				

研修報告書

	会 派 名	無会派
研 修 年 月 日	2025年3月25日	
研 修 名	地方議員研究会 地域の医療を守る特別研修会	
参 加 者	岩村恵美	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	自治体病院と地方財政の基礎 講師 伊関友伸 氏 病院収支と地域医療費のデータや全国の病院に占める公立病院の役割とは。自治体病院は新型コロナウイルスにおいて積極的に患者を受け入れた。これまで、税金が投入されている自治体病院不要論などあったが、新型コロナの対応で自治体病院の必要性は国民に理解されたが、感染症対応以外の存在意義はあるのか。世界的にみて多い日本の病床数。富士宮市は？しっかりとしたデータで見ると確かに無駄があると感じた。 病院の統合再編と高騰する建築費については、やはり近隣自治体としっかりと話し合いを持ち、連携と棲み分けの重要性を感じた。高騰する建築費が当たり前のようになっているかもしれないが、不必要な資材や工事をどのように削減するのか学ぶことができた。 専門家から見た市立病院の現状把握から、病床利用率や単価の確認など具体手に理解することができた。	

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	7 年 3 月 1 日	決 裁	7 年 3 月 1 日
所 属		氏 名	備 考
1	無会派	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
東京都新宿区		地方議員研究会	「必ず成果が出る質問の取り上げ方」
研 修 目 的			
議会質問のあり方についての研究のため			
宿泊地		出発年月日	帰省年月日
東京都千代田区		令和 7 年 3 月 2 6 日	令和 7 年 3 月 2 6 日

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	¥ 15, 550
内 容	地方議員研究会主催の研修会受講料
目 的	自治体病院のあり方についての研修会に参加するため
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和7年 3月25日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美 1名 受講料 15000 円 振込手数料 550 円 3/26 分 15000円 × 1講座	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

みずほネットキャッシュサービス
お取扱明細票

⑤ 富士宮信用金庫

お 取 扱 日		お取扱店番・受付番号	
07.02.28		[REDACTED]	
お 取 引 店		口 座 番 号	
[REDACTED]		[REDACTED]	
お取引金額			
お取引内容	お引出		
手数料	¥550	お取引金額	
時刻	15:33	¥135,000*	
説明コード	お取引後残高		
	[REDACTED]		

シヤシーケーセミナー様

イワムラ エミ モチヅキ ヨシマサ ナカカ
"メ キョウハ様 [REDACTED]

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	¥ 1 3 , 8 3 0 —
内 容	地方議員研究会主催の研修会への旅費
目 的	議会質問についての研修会に参加するため
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和7年3月24日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美 1名	

— 領収書等貼付欄 —

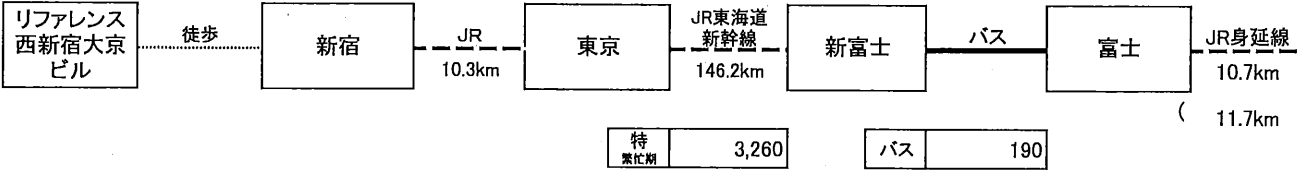
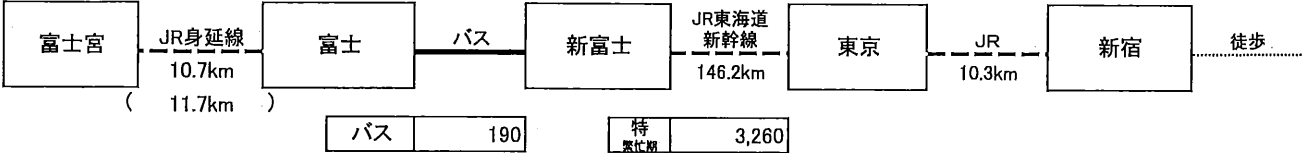
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(岩村議員)

● 1 日 目：令和 7 年 3 月 26 日 (水) 繁忙期

【研修】CKセミナー「必ず成果が出る質問の取り上げ方」(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	12,180 円 × 1 人 = 12,180 円		
	私 鉄	円				
	通 常	円				
	閑 散	円				
特 急 料 金	繁 忙	6,520 円	日 当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円		
	料 金	円				
航空運賃		円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
船 賃		円				
車 賃 (バ ス)		380 円	旅費合計	13,830 円/人 × 1 人 = 13,830 円		
1人往復運賃合計 A		12,180 円				

研修報告書

	会派名	無会派
研 修 年 月 日	2025年3月26日	
研 修 名	地方議員研究会 地域の医療を守る特別研修会	
参 加 者	岩村恵美	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	必ず成果が出る質問の取り上げ方では、指摘するポイント多数の資料の見方や、各自治体の加算取得状況の解説があり、富士宮市として何が加算できるのか、具体的に理解することができた。 この研修を受けてさらに勉強し、過去の一般質問をみて、どのように具体的に指摘をして、取り組むかも理解できた。 今後さらに理解を深め、調査し、研究して質問し富士宮市民が安心できる地域包括医療体制にしていきたい。	